

令和2年度 さいたま市立大牧小学校 学校経営計画

さいたま市では、昨年度より、第2期さいたま市教育振興計画「人生100年時代を豊かに生きる「未来を拓くさいたま教育」の推進」を基本理念として掲げ、「世界と向き合い 未来の創り手として輝き続ける人」を本市の教育が目指す人間像として、22世紀を見据えた教育施策の展開が示された。

基本的方向性としては、①12年間の学びの連続性を生かした「真の学力」の育成②グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健やかな体の育成③人生100年時代を輝き続ける力の育成④スクールコミュニティによる連携・協働の充実⑤「未来を拓くさいたま教育」推進のための基盤整備として整理され、市民一人ひとりが自己実現が図れるように示されている。

また、『「未来を拓くさいたま教育」を推進する「PLAN THE NEXT 3つのGで日本一の教育都市へ』として、子どもたちにやり抜く力で真の学力を育成する（Grit）国際社会で活躍できる人材を育成する（Global）一人ひとりの成長を支え生涯学び続ける力を育成する（Growth）という3つの取組で未来にはばたく子どもたちを育成する教育の推進を掲げている。そして「未来を拓くさいたま教育推進プロジェクト」が示され、STEAMS教育の推進とともにSDGsに示されるような持続可能で質の高い教育が求められている。

本校では上記の趣旨を十分に踏まえ、また、開校40周年を来年度に控えた本校の実態や家庭・地域など学校を取り巻く諸条件、社会全体の動向等を勘案しながら、確かな学力の向上を図り、豊かな心と健やかな体、豊かなかかわり合いをはぐくむとともに、児童が生き生きと学校生活を送ることができるよう、安心・安全で豊かな環境づくりにも一層配慮し、保護者、地域から信頼される特色ある学校づくりに取り組んでいく。

1. 【目指す児童像】 「知」「徳」「体」「わ」を身に付けた活力のある子

学校教育目標

『生き生きした 活力のある子』

- ・よく考える子
- ・思いやりのある子
- ・じょうぶな子
- ・「わ」を大切にする子

学校のキャッチフレーズ（合言葉）

ともにのびよう あいうえ大牧小学校

「あ」 あいさつや返事がしっかりできる学校

「い」 一生懸命学習に取り組む学校

「う」 美しく掃除の行き届いた学校

「え」 笑顔のあふれる学校

これまでの合言葉「あいうえ大牧小学校」は子どもたちにも浸透しているところである。保護者には、学校だよりのほか、入学式の式辞やホームページ等でも紹介している。本年度は開校40周年の取組がスタートする年でもあり、令和4年度にはコミュニティスクールの実施も見込まれていることから、地域とともに、保護者とともに、大人も子どもも、ともに伸びていく学校にしていこうと考え、今年から「ともにのびよう」の文言を加え、今まで以上にあいさつ、学習、環境美化等に力を注ぎ、子どもたちもかかわる大人たちもみんなと一緒に、相手の立場や思いを汲みながら生活し、輝く瞳、あふれる笑顔の学校にしていきたいと考え、学校のキャッチフレーズ（合言葉）を新たに「ともにのびよう あいうえ大牧小学校」と設定する。

よく考える子 …… 知的好奇心旺盛で、自ら課題を見付け解決を図る、よく考える子

<Grit><Growth>

- ・ 知的好奇心、探究心、向上心旺盛でアクティブに学ぶ子
- ・ 基礎的基本的な知識・技能を身に付け、学びに向かう子
- ・ 思考力・判断力・表現力を身に付け、クリティカルシンキングのできる子

思いやりのある子 …… 自分の考えを深めるとともに相手の立場を尊重する、思いやりのある子

<Grit> <Global>

- ・ 相手の立場を尊重し、思いやりのある行動がとれる子
- ・ 周りのためにはたらくことを進んでしようとする子
- ・ 適切な規範意識をもち、善悪の判断のできる、時間やきまりが守れる子

じょうぶな子 …… 心身ともに健康で、たくましく生きる力を身に付けた、じょうぶな子

<Grit>

- ・ 明るく、たくましい心をもち、自尊感情を高め、自制心ややり抜く力のある子
- ・ 自らの課題を認識し、進んで運動し、体をきたえる子
- ・ 望ましい食生活や睡眠など、規則正しい生活に努め、自らの健康を大事にする子

「わ」を大切にする子 …… 「わ」を大切にし、認め合い高め合う人間関係を築く子

<Global>

- ・ 明るいあいさつができ、笑顔で「対話」「会話」のできる子
- ・ 互いに認め合い、友だちと「輪」「和」を築くことができる子
- ・ 役割を分担し、協力し合える子（学級活動、係・委員会活動、きょうだい班活動、等）
- ・ 多様性を受け入れ、生涯学び続けようとする子

2. 【目指す人間像】 世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人

- ・ 自らを取り巻く多くの情報の中から、必要なことを主体的に判断し、問題の解決を目指して他者と協働しながら最適なものを見出し、新たな価値を創造することのできる人
- ・ 人間ならではの感性、創造性を発揮し、自らの可能性を高めながらよりよい人生、よりよい社会を作り出すことのできる人
- ・ 生涯にわたって質の高い学びを重ね、夢と志を持ち続ける健康で幸せに暮らすことのできる人

3. 【目指す教師像】 笑顔で接し、授業で勝負する教師

- ・ 信頼される教師（児童との信頼関係、教師間の連携協力、保護者との連携協力、サービスの厳正）
- ・ 児童一人ひとりのよさを認め、学習意欲を引き出す教師（多面的な児童理解、教材研究の充実）
- ・ 指導力向上に努める教師（職務研修、職専免研修、自主研修）
- ・ 好ましい教育環境をつくる教師（教室環境、掲示、清掃指導、言語環境等）

4. 【目指す学校像】 花と本に囲まれ、笑顔のあふれる学校

- ・ 確かな学力の向上を図り、豊かな心と健やかな体、豊かなかかわり合いをはぐくむ学校
- ・ 生き生きと学校生活を送れる、安心・安全で、笑顔のあふれる学校
- ・ 地域や学校の特徴を生かし、保護者や地域から信頼される学校

*** 学校教育目標「生き生きした 活力のある子」を実現するために、「チーム大牧」で組織的に取り組む笑顔あふれる学校**

令和2年度 学校経営の重点

○基礎体力と機動力のある組織づくりの推進 <Grit><Growth>

- ・ベテラン、中堅、若手、それぞれの長所を活かし、互いに刺激し合い、学び合うことを通して個々の資質、特に学習指導、生徒指導、学級経営の力量を高め、組織全体の教育力を高める。
- ・運営委員会、主任を中心に、各学年・各分掌・各部会の活性化を図る。
- ・「報告」「連絡」「相談」「見届け」の徹底や起案システム等を通し、組織力の一層の強化を図る。
- ・校務の効率化、スクラップ&ビルドの推進を図る。(改善の視点をもった取組と反省を意識的に行う)

○学習指導の一層の充実 <Grit><Global><Growth>

- ・学力向上ポートフォリオを生かし、基礎学力の向上と家庭と連携した家庭学習の充実を図る。
- ・全国学力学習状況調査や市学習状況調査、新体力テスト等の結果を丁寧に分析して児童の実態を的確に把握し、指導に生かす。
- ・Society5.0 で求められる力を児童生徒に育成するために教科横断的な教育を実践する STEAMS 教育を推進する。
- ・「合理的配慮」の充実を図り、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育を推進し、特別支援教育の一層の充実を図る。
- ・指導の基礎・基本を再確認し、小中一貫教育の趣旨を踏まえながら授業の工夫改善に努め、日々の学習指導の質を高める。
- ・新しいたま市の授業づくりを活用するとともに、新たに国語科でスタートする学校課題研修を、指導力向上のために積極的に活用し読解力向上を図る。
- ・「授業日数205日」の趣旨を踏まえ、十分な授業時数を確保する。また、コロナウイルス感染症拡大防止に係る休校によって実施できなかった教育課程について、つけるべき力がしっかりと身につくよう確実に実施する。
- ・学習指導要領の改訂を踏まえ、特に英語教育や道徳授業づくりの手引きを活用するとともに「特別の教科」道徳の実践を深める。
- ・オリンピック・パラリンピック教育の推進と一校一国運動（フィリピン共和国・ジンバブエ共和国）を展開する。

○積極的な生徒指導の推進 <Grit><Global>

- ・質の高い学級・学年経営や教科指導等により、個性の伸長を図りながら社会的な資質や能力・態度を高め、児童の自己指導能力を育成する。(問題行動の未然防止)
- ・「心を潤す4つのことば」「ともに伸びよう あいうえ大牧小学校」を中核に、家庭・地域とも連携しながら、特にあいさつ指導の徹底を図り、笑顔あふれる学校づくりを進める。
- ・いじめ問題に対して、関係法令や「さいたま市いじめ防止基本方針」に沿い、いじめ対策委員会を中心に組織的な未然防止に努める。また、早期発見・早期解決を図り、いじめ撲滅を目指す。
- ・近隣小中学校との情報連携・行動連携も含め、生徒指導体制を有機的に機能させる。
- ・人間関係プログラム、心と身体のアナケート等を活用して生徒指導上の問題行動の早期発見に努め、「緊急対応の手引き」を危機管理の基準に据えて早期対応、早期解決に努める。

○児童が生き生きと活動できる、安心・安全な学校づくりの推進 <Grit><Growth>

- ・人的環境と物的環境のさらなる整備に努める。清掃指導の一層の充実、掲示教育の充実を図る。
- ・言語環境の整備に努め、美しい日本語の使用を常時心掛ける。
- ・教職員及び保護者、地域の危機管理意識の高揚を図る。
- ・安全マニュアルの改善を進めるとともに、具体的場面を想定した訓練、研修を実施する。
- ・登下校時の事故防止、不審者対策等のため、学校での指導の徹底を図るとともに、「学校安全ネットワーク」を充実させ、地域全体の安全度を高める。

○家庭・地域・小中一貫教育ブロック校との連携強化 <Grit><Global><Growth>

- ・令和4年度より実施のコミュニティ・スクールへの移行を視野に入れ、SSN+を充実させ、地域の教育資源の導入と活用に努め、相互に連携し合いながら地域を愛し大切に育てる児童を育てる。
- ・開校40周年の節目の年に向け、地域、保護者と連携し、次の10年間を見越した取組を「SDGs 未来都市計画」に示された教育水準の向上と魅力あふれる学校づくりを含めて推進する。
- ・学校からの積極的な情報発信と、家庭・地域からの意見・要望の受信に努める。
- ・「ノーメディアデー」「食育の日」「さいたまのこどもは」等、児童の生活習慣の改善について、保護者に働きかける。
- ・9年間を見通した教育課程を編成し、さいたま市小中一貫教育の実を上げるため、尾間木中学校・尾間木小学校との連携にさらに深める。